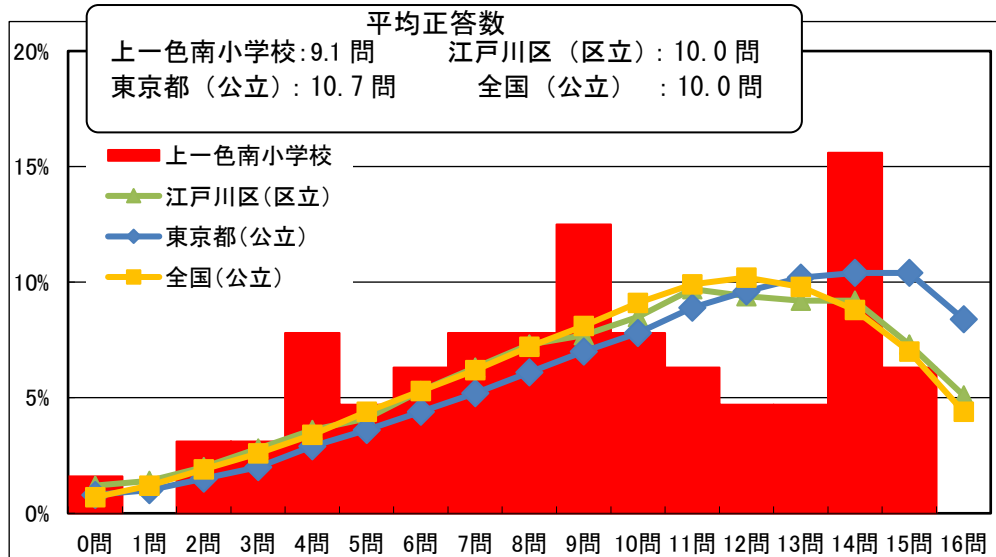
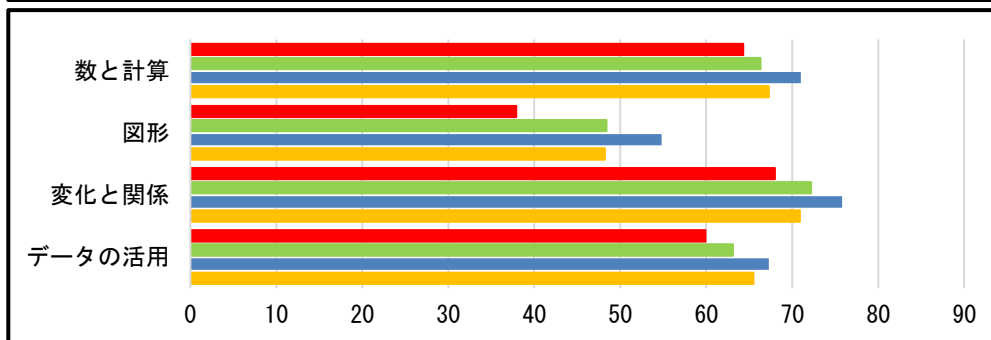
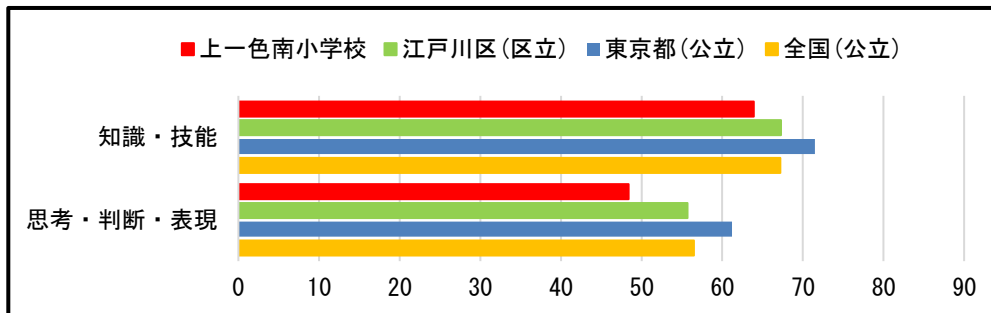


令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【算数】 上一色南小学校

正答数分布



「領域別」の結果



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

算数	上位 ← → 下位			
	A層 14~16問	B層 11~13問	C層 8~10問	D層 0~7問
上一色南小学校	21.9	15.7	28.1	34.3
江戸川区 (区立)	21.6	28.3	23.5	26.6
東京都 (公立)	29.2	28.7	20.9	21.2
全国 (公立)	20.2	29.9	24.4	25.5

【平均正答率の差】

上一色南小学校	57%
江戸川区 (区立)	62%
東京都 (公立)	67%
全国 (公立)	62.5%
都との差	10ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

正三角形の意味や性質について理解することや高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することなど、図形において大きな課題がある。また、示された棒グラフと複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見出した違いを言葉と数を用いて記述するなど、自分の考えを記述し説明することにも大きな課題がある。

多角的に図形を観察したり作図したり、自分の考えや理解したことを説明したりする学習に重点をおく。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。